

令和7年度　　《学校評価表》

学校番号　25　長野県屋代高等学校・附属中学校

学校教育目標（普遍的教育目標）
教育基本法に則り、創立以来の質実剛健の校風を継承して、次の三綱領を定める。 1 学力の充実と、知性の啓発に努める。 2 自主独立の気風を養い、創造性を育成する。 3 情操豊かな人間性を陶冶し、健康な身体を錬成する。
長期的な視野に立った教育目標
生徒、保護者、地域の期待に応えられる、新しい学校づくりに努め、「魂の故郷」としての学校になり得る充実した教育活動を行う。 1 旧制中学校から引き継がれた学問の伝統（科学的探求心・実験的精神）を発展的に継承する。 2 質実剛健の校訓のもと、激しい変化の時代にたくましく生きていける力を育てる。 3 保護者、地域、同窓会との連携を図り、開かれた学校づくりを行う。
令和7年度重点目標
自由な校風のもと、生徒が自主的自律的に学業・班活動・生徒会活動に取り組み、学力や個性を伸張できるよう惜しみない指導支援を行う。 1 SSH先導的改革型Ⅱ期のもと、普通科教育・理数科教育・中高一貫教育のそれぞれの特色を生かした新しい学校づくりを目指す。 2 生徒の進路希望実現に向けて、進路指導体制を検討し発展を図る。 3 探究的な学びに取り組む姿勢を育てる魅力ある授業が提供できるよう、ICT活用のための研究を進め、教科指導の研鑽に努める。 4 健康で、元気な学校生活が送れるよう、生徒の人権を尊重した教育活動、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりを進める。 5 屋代高校と附属中学校の特色をアピールできるよう、保護者、小中学生や地域に対して積極的に情報発信を行う。

令和7年度教育活動に対する評価の観点と評価

評価項目		評価の観点	具体的取組	評価の材料
1	学校づくり	新しい学校づくりに向け、普通科教育・理数科教育・中高一貫教育およびSSH先導的改革型Ⅱ期のプログラムについて更に研究を深め実践することができたか。	大学や研究機関・企業との連携事業、他校や地域との交流等、ネットワーク形成とための研究。(SSH,キャリア,CD)	・生徒アンケート、職員アンケート
			高1一人一研究、高2課題探究、理数科課題研究、高3SS探究、中学科学リテラシーの実施と発展のための研究。(SSH,学年,CD)	・探究活動の成果 ・生徒アンケート
			普通科、理数科、一貫教育それぞれのカリキュラムの研究とシラバスの作成。(CD,教科)	・関係する分掌での研究・実践 ・生徒、保護者アンケート
2	キャリア教育	キャリア教育体制を検討し発展させることができたか。	大学、企業、地域と連携したキャリア教育の実施と発展のための研究。(キャリア,学年)	・生徒アンケート
			職員向け進路研修会の実施。大学入試改革等の研究。(キャリア)	・職員アンケート
		進路情報を生徒・保護者に向け有効に発信できたか。	学年通信の発行。生徒、保護者向け進路研修会の実施。情報提供手段の研究。(キャリア,学年)	・生徒アンケート ・保護者アンケート
		全教科にわたる総合的学力を養成し、国公立大学を中心に進路実現の可能性を拡げることができたか。	学年会、教科会と連携して、キャリア教育を中心に据えた学習指導の充実と向上。キャリア教育指導体制の強化。(キャリア,教科,学年)	・大学入学共通テスト6-7、6-8形成率 ・共通テスト偏差値の推移 ・大学合格者数
		学びの基礎診断等により生徒の学力や生活実態などの情報を把握し、それを集団と個々に応じた指導に活かすことができたか。	模試、生活実態調査、進路検討会の実践。学年集会、個別面談、三者面談によるフィードバックと指導の実施。(キャリア,学年)	・集会や面談の実施回数 ・生徒アンケート ・保護者アンケート
3	授業科改善指導	探究的な学びに取り組む姿勢を育てる魅力ある授業が提供できるよう、ICT活用のための研究を進め、教科指導の研鑽に努めることができたか。	教員相互の授業公開、授業参観、研究授業の実施。(CD,教科)	・職員アンケート
			授業アンケートの実施と分析。授業改善のための研究会の実施。(CD,教科)	・生徒アンケート
			一人一台端末等のICT機器を活用した学びの研究。生徒の情報リテラシーの向上。職員研修会や研究会の実施。(情報,教科)	・職員アンケート ・生徒アンケート
4	支援生徒	個別に支援や配慮を必要とする生徒に対し適切な支援を施すことができたか。	コーディネーターを中心とした関係職員の情報共有の機会を設定。スクールカウンセラーとの連携。生徒への周知。職員研修会の実施。保護者への支援。(生徒相談)	・生徒アンケート ・保護者アンケート ・職員アンケート
	指導生徒	通学中の交通事故をなくす努力ができたか。	交通安全教室、街頭指導の実施。警察や地域との連携。(生徒指導)	・事故数の経年比較 ・生徒アンケート
		SNSでの人権侵害、いじめや暴力のない安全な学校生活を送るための啓発活動ができたか。	全校集会や学年集会、学年通信を使つての呼びかけ。ホームルームでの指導。個人面談の実施。(生徒指導,学年)	・生徒アンケート ・保護者アンケート ・職員アンケート
	教人育権	すべての教育活動が人権教育を基盤として行われ、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりにつながったか。	人権教育集会の実施。ホームルームでの指導。(人権教育)	・生徒アンケート
			職員向け人権教育研修会の実施。人権教育を充実させるための研究。(人権教育)	・職員アンケート
	5	発信情報	本校の教育活動の成果を、保護者、小中学生、地域に伝え、特色ある学校として理解してもらうことができたか。	・参加者へのアンケート
6	生徒会	質実剛健の気風を大切にして、執行部と各会員が一体となった自主活動のための指導・支援を行うことができたか。生徒一人ひとりが、生き生きとした活動をすることができたか。	生徒会企画と各委員会による活動の充実。文化祭、クラスマッチなど生徒会行事の実施。職員による支援体制の充実。(生徒会,学年)	・生徒会活動の成果 ・生徒アンケート ・職員アンケート
			生徒が主体となる班活動の実施。学習と班活動を両立するための支援。(生徒会,班活動)	・クラブ(運動班、学芸班)の加入率 ・生徒アンケート
	美化内	清掃用具の充実を図ると共に、生徒が自主的に校内美化を進められるように、指導・支援を行うことができたか。	清掃用具の定期的な点検と更新の促進。清掃委員会、厚生委員会を中心とした清掃活動とリサイクル活動の充実と支援体制の強化。(厚生,生徒会)	・生徒会活動の成果 ・生徒アンケート

以上について、教職員による中間評価、外部アンケート（生徒、保護者等）の結果および学校関係者評価（学校評議員、PTA役員等）を基に教職員自ら行う年度末評価により、年度毎その成果と課題を示していく。